

中学歴史プリント（書き取り）

安土桃山時代

名前

得点

/22

- 問1 16世紀のドイツで、免罪符の販売を批判し、聖書に基づいた信仰を主張して宗教改革を始めた人物は誰？
- 問2 1519年に世界一周の航海に出発した人物は誰？
- 問3 安土城の障壁画を手がけた、桃山文化を代表する絵師は誰？
- 問4 織田信長や豊臣秀吉の時代に活発に行われた、ポルトガルやスペインなどとの外国貿易を何という？
- 問5 安土桃山時代において、支配者の富と権力を内外に示すために豪華な装飾が施された建築物を何という？
- 問6 マゼランの船隊が南アメリカ大陸の南端を回って横断した、地球の大部分を占める広大な海を何という？
- 問7 兵農分離の政策において、武士とは別に農業に専念させられた人々を何という？
- 問8 自身の船団で史上初めて世界一周を達成し、地球が丸いことを証明した航海者は誰？
- 問9 喜望峰を回ってインドへ到達する航路を15世紀末に切り開いた人物を輩出した国はどこ？
- 問10 織田信長によって擁立された、室町幕府の最後の将軍を何という？
- 問11 安土桃山時代に、南蛮貿易で入手することで軍事力を高めようとした武器は何？
- 問12 安土城など、近世の城郭に特徴的な、城の中央に高く建てられた建造物を何という？
- 問13 ヨーロッパ諸国が新しい航路を切り開き、海外進出が活発になった時代を何という？
- 問14 織田信長や豊臣秀吉の時代に、大名や豪商の富を背景に栄えた文化を何という？
- 問15 桃山文化を象徴する城郭建築であり、現存する世界遺産でもある代表的な遺構を何という？
- 問16 宗教改革において、信仰の唯一の基準として、その教えに立ち返ることを人々に訴えた書物を何という？
- 問17 豊臣秀吉による朝鮮出兵を、別名で何という？
- 問18 安土桃山時代に大名や豪商の富を背景として栄えた、豪華で力強い文化を何という？
- 問19 豊臣秀吉が全国の大名に対し、互いに領地争いをすることを禁じた法令を何という？
- 問20 安土桃山時代に全国の土地を調査し、石高を定めて統一を行った指導者は誰？
- 問21 天下統一後、大陸の「明」を征服するために二度にわたって朝鮮半島へ軍を派遣した人物は誰？
- 問22 16世紀のヨーロッパで、カトリック教会の腐敗を批判し、聖書中心の信仰を説いた人物は誰？

答え合わせ・解説

問1	答え ルター	ルターは1517年に「95か条の論題」を発表し、信仰のよりどころは教会ではなく聖書にあると主張しました。この主張は活版印刷術によって急速に広まり、多くの人々の支持を得ました。
問2	答え マゼラン	マゼランは5隻の船団を率いてスペインを出港しました。南アメリカ大陸南端の海峡を抜けて太平洋を横断するという過酷な航海でしたが、彼の船団は世界で初めて地球を一周しました。なお、マゼラン自身はフィリピンでの争いで命を落としたため、帰還したのは部下のエルカーノらわずか1隻の船でした。
問3	答え 狩野永徳	狩野永徳は、金箔を背景に用いた「金碧障壁画」の第一人者です。彼の描く絵はダイナミックで力強く、城の内部を飾るのにふさわしい華麗な世界観を表現しました。
問4	答え 南蛮貿易	大航海時代の到来により、日本へキリスト教とともにヨーロッパの商人が渡来しました。彼らとの間で行われた南蛮貿易では、鉄砲や火薬、ガラス製品などが輸入され、日本の産業や生活に大きな影響を与えました。この貿易の利益は、当時の大名たちにとって大きな財源となりました。秀吉がキリスト教を厳しく制限しながらも、貿易を完全には禁止できなかった重要な理由の一つです。
問5	答え 城郭	安土桃山時代の城郭は、高い石垣や天守閣を備えた壮大な建築物であり、内部には金箔を貼った障壁画などが飾られました。豊臣秀吉の大坂城などが代表的で、当時の高い建築技術や芸術性を伝えています。
問6	答え 太平洋	マゼランは南米大陸の南端にある海峡を発見し、その先の広大な海へ出ました。彼はその海が穏やかであったことから「平和な海（パシフィック）」と名付けました。これが現在の太平洋であり、当時の知識を大きく書き換える発見となりました。
問7	答え 百姓（農民）	豊臣秀吉は「刀狩」を行い、百姓から刀や槍などの武器を取り上げました。これにより、武士と百姓の身分が明確に分けられました。百姓は村に縛り付けられ、農業生産に集中させられることとなりました。
問8	答え マゼラン	マゼランは1519年にスペインを出発し、南アメリカの南端を抜けて太平洋に出ました。現在のフィリピンでマゼラン自身は戦死しましたが、部下が航海を続けて1522年にヨーロッパへ帰還しました。これにより、人類史上初めて世界一周が達成され、地球が球体であることが実証されました。
問9	答え ポルトガル	1498年にバスコ・ダ・ガマが喜望峰を回ってインドのカリカットに到達したことで、初めてヨーロッパとアジアを結ぶ直接航路が完成しました。これにより、イスラム勢力の影響を受けない独自の貿易路が確保されました。
問10	答え 第15代将軍	足利義昭は、織田信長を頼って上洛し、第15代将軍に就任しました。しかし、信長の意向に従わなかったため、後に信長と激しく対立することになります。
問11	答え 鉄砲	鉄砲はポルトガル人によって種子島に伝えられました。大名たちは、南蛮貿易を通じてこの鉄砲を大量に入手し、足軽に持たせることで集団戦法を確立しました。この技術は、後の信長による長篠の戦いなどでも活用されました。
問12	答え 天守	天守は城のシンボルとして、遠くからでも見える高い場所に建てられました。織田信長が築いた安土城の天守は、非常に豪華で独創的な外観を持ち、後の近世城郭の基準となりました。
問13	答え 大航海時代	羅針盤の改良や造船技術の向上を背景に、ポルトガルやスペインの船乗りたちが喜望峰経由や西回り航路を開拓しました。これにより、遠く離れた地域間での直接貿易が可能になり、キリスト教の布教も世界規模で拡大しました。
問14	答え 桃山文化	桃山文化は、大名や豪商の経済力を背景に、極めて華やかで壮大なのが特徴です。代表例として姫路城などの城郭建築、狩野派による障壁画、千利休が完成させた茶の湯などがあります。
問15	答え 姫路城	姫路城は、現在の兵庫県に位置し、関ヶ原の戦いの前後に完成した城郭建築の傑作です。白漆喰で塗られた外観は美しく「白鷺城」とも呼ばれます。当時の書院造の建築技術と、複雑な防御機能が組み合わさった歴史的価値の高い遺構として世界遺産にも登録されています。
問16	答え 聖書	ルターやカルバンは、信仰の根源は教皇の教えではなく「聖書」にあると説きました。この主張により、一般の人々が聖書を読み、自分たちで教えを解釈する動きが広まり、印刷技術の発達によって翻訳された聖書が広く普及しました。
問17	答え 文禄・慶長の役	この出兵は、時期によって二回に分けられます。最初の1592年の戦いを「文禄の役」、1597年から始まった二度目の戦いを「慶長の役」と呼び、これらを総称して「文禄・慶長の役」と呼称します。朝鮮軍の必死の抵抗や、李舜臣率いる水軍による反撃、さらに明の援軍により、戦況は長期化して膠着状態に陥りました。
問18	答え 桃山文化	桃山文化は、大名や豪商の経済力を背景に発展した、華やかで力強い文化です。城郭建築が盛んになり、内部には狩野派による豪壮な障壁画が描かれました。茶の湯が武士のたしなみとして定着し、千利休によってわび茶が完成するなど、文化の幅が大きく広がったのもこの時代です。
問19	答え 総無事令	秀吉は、自らが天下人であることを内外に認めさせるため、武力で解決することを制限しました。総無事令は、大名間の領地争いを禁止し、違反した者は秀吉の敵と見なすという厳しい内容でした。この法令により、全国の領土問題は秀吉の裁定に委ねられるようになり、平和な近世社会を築くための強力な統治手段となりました。
問20	答え 豊臣秀吉	豊臣秀吉は天下統一を果たした後、全国的な土地調査である「太閤検地」を行いました。これは農地面積を測り、土地ごとの収穫量を石高として算出するものです。これにより、だれが耕作しているかを明確にし、年貢を確実に徴収できる体制を整えました。
問21	答え 豊臣秀吉	豊臣秀吉は、日本の武士たちの力を外に向けさせるとともに、東アジアの覇権を握るために「明」の征服を計画しました。この目的のために、まず朝鮮王朝に対して服属と進軍への協力を求めましたが、朝鮮がこれを拒否したため、軍を派遣して戦争となりました。
問22	答え マルティン・ルター	ドイツの神学者マルティン・ルターは、これに強く反発し、「信仰のよりどころは教会ではなく聖書にある」と説いて宗教改革の狼煙を上げました。彼は聖書をドイツ語に翻訳し、広く一般の人々が聖書を読めるように努めました。